

室蘭市行政改革プラン2022（素案） 概要版 計画期間：令和4年度～令和8年度

第1章 基本的な考え方（P1）

本計画は、「第6次室蘭市総合計画（R2.3策定）」を推進する個別計画のひとつとして、「財政基盤の強化」や「効率的な行政運営」につながる取組みを通じて、持続可能な行政運営を実現することを目的とします。

第2章 財政基盤の強化（P2～）

財政基盤の強化に向けた目標（P3）

本計画期間内（～R8/2026）は、本計画に掲げる各取組項目のほか、毎年度の予算編成時における事務事業の見直しや有利な財源の活用等により「①単年度収支」の均衡を維持します。

長期的な目標（～R22/2040）としては、「②人件費」「③公債費」について、「財政の見通し」における一般財源収入の減少率を踏まえた目標を設定し、将来を見据えた財政基盤の強化を推進します。

財政基盤の強化に向けた目標

項目	現状 (R3 予算)	計画期間内 (～R8/2026 年度)	長期的な目標 (～R22/2040 年度)
①単年度収支	収支均衡	収支均衡を維持	
②人件費 ^{※1}	38億円	「財政の見通し」における一般財源収入の減少率を踏まえ、2040年までに②～③を▲15%縮減	32億円 (▲6億円)
③公債費 ^{※2}	32億円		27億円 (▲5億円)

※1…一般会計における一般職の人件費（会計年度任用職員を除く。退職手当を除く）

※2…一般会計における公債費（臨時財政対策債を除く）＋西いぶり広域連合の公債費に係る本市負担金

取組項目（P4～）

- (1) 公共施設の適正化
 - ①公共施設の適正化
- (2) 自主財源の確保
 - ②市有財産の活用等による歳入確保
 - ③企業誘致や振興等による税源の涵養
 - ④受益者負担の見直し
- (3) 公営企業・第三セクターの経営基盤の強化
 - ⑤公営企業の経営基盤の強化
 - ⑥第三セクターの経営基盤の強化
- (4) その他財政基盤の強化
 - ⑦ごみ処理・リサイクル事業の見直し

第3章 効率的な行政運営（P12～）

職員数の見通し（P13）

本計画期間内（～R8/2026）は、退職者数が少ないことなどから、概ね現状の職員数を維持します。

長期的な見通し（～R22/2040）としては、「①一般行政職員」及び「②教育職員」については、人口規模に応じた類似団体の状況や、本市における将来的な財政規模の縮小を踏まえて、「令和22年度（2040年度）までに330人～350人程度」となる想定のもと、将来を見据えた業務の効率化や計画的な職員採用を進めます。

「③消防職員」については、将来的な人口規模や退職動向等を踏まえた消防体制のあり方について、令和4年度に「消防体制基本計画」を策定する中で、将来的な消防職員数の検討を行います。

職員数の見通し

部門	現状 (R3.4.1)	計画期間内 (～R8/2026)	長期的な見通し (～R22/2040)
①一般行政	353人	概ね現状維持	330人 ^{※1} } 350人 ^{※2}
②教育	34人		
③消防	135人	概ね現状維持	「消防体制基本計画」の策定と併せて検討
普通会計 合計		522人	

※1…「財政の見通し」における一般財源収入の減少率▲15%を踏まえ、387人×85%≒330人

※2…類似団体Ⅱ-3及びⅠ-3における人口1万人あたり職員数の平均（一般行政職員及び教育職員）を踏まえ、5.5万人×63.17人/万人÷10,000≒350人

取組項目（P15～）

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> (1) デジタル技術の活用による市民サービス向上や業務効率化 <ol style="list-style-type: none"> ⑧行政手続きのオンライン化 ⑨情報システムの標準化・共通化 ⑩テレワークの推進 | <ol style="list-style-type: none"> (2) その他業務改善等の推進 <ol style="list-style-type: none"> ⑪庁内共通業務の集約化 ⑫職員提案による業務改善等の推進 (3) 組織機構の見直し <ol style="list-style-type: none"> ⑬消防体制の見直し |
|---|---|

第4章 計画の推進体制（P21）

「室蘭市行政改革推進委員会」や「室蘭市政策推進本部」において、各年度における取組みの進捗状況を評価することで、計画の実効性を高めるとともに、必要に応じて計画の見直しを行います。